（一） 第百廿九號 （火曜日） 明治四十二年六月八日 （月曜日大祭日及祭日の翌日休刊） （明治四十一年十二月十七日第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城雜感

片々生

◎三稅問題 は發布當時本紙は倒早の聲を上げて當局者の反省を促したりき、然るに當局者は馬耳東風更に意に介せざりしに、今や國に於て大問題として反對の聲を上げつゝあり、伊藤公亦其非なるの語氣を漏らしたりとかにて、始て當局者も氣を揉み出したりと聞く、吾人は常に當局者の民論に聽かざるの弊を憫むものに候。

◎我執矯正 概して當局者なる者が極て民論に聽かず、自分等の立案を飽迄徹せんとする頑癖あり、爲に往々累を爲とする堅白異同の辯を弄して自案を擁護することを見受け候、是れ全く官憲者流を通じての暴癖とでも可申歟、三稅問題の如きも本紙は地方現時の實狀を舉げて之を實施するも徹績なく、却て保護政治に傾累あるべきを警告致し候、當時に於て本紙の所說に聽く所あれば韓人の誤解も招かず、輿論の反抗をも惹かざりしならんと存候、宜しく我執は矯[illegible]したきものに御座候。

◎自己の功名 を急ぐ爲に種々小刀細工を弄するは眞に國家の迷惑に候、如何に財政を餓にして自己の手腕を誇らん事に熱るも全体大局の上に害ありては決して功名手柄には相成不申候、愼む可きは小功名小手柄に熱ることに候、三稅問題の如き、中央銀行設置計畫の如きは、要するに當局者が功を焦るより來れるものと世人に測觀せらるゝも不止得事と存じ候、希くは大局の上より大功名大手柄をなす爲に盡瘁せられたきものに御座候。

◎一進會の態度 李容九宋秉畯等が一進會今后の態度に就て伊藤公に或る談判を持込みたりとは豫て及聞居候、然るに頃者漸く伊藤公及曾禰子の好意に依り安協落着したりの說有之候、果して事實ならば如何に此安協は成立したるか、世說に依れば一進會今後の態度は統監政治に對して好意的傍觀する事に相成りしとの事に候、伊藤公が李容九を主賓として午餐會を催したるも此落着を祝ひたる爲と見るも可なりと存候。

◎好意的傍觀 の地位に立つに就ては一進會の維持の出來る丈けの事に相成候との事に候、併し亦維持の困難なるに至れば更に亦鉄砲を開始する事の到來することも可有之と存じ候、然らば一進會の維持は到底六ツ個敷と申者も有之候、是は實際適切の評言と思はれ候。

◎所謂見識か 伊藤公の對一進會策は始より誤り居候樣見受けられ候、婉白小僧に餓を與るも忽ち買喰して後を强請し來るものに候、世間婉白小僧の親は常に是が爲に手を燒く今回の一進會に對する所置も願はくは婉白小僧の如き樣を踏ざる樣希望仕候、伊藤公の對一進會策は殆ど兒戲の如くに局外よりは思はれ候。（五日稿）

文苑

●良心の苛責　凉到生

綿雨霏々として燒頭に滿り身心何となく鬱陶しい、エヽ金は天下の回りものだと机の抽斗の中に入れてあつた紙入れを手早く取り出すが早いか家を飛び出し本町一丁目裏の小料理屋に押し上り酒と肴とを取り寄せ鱈腹飲み喰ひした勘定が三圓五十錢女に五十錢遣つたのも入れると丁度四圓、五圓で一圓の釣を取つて家に歸り寢床の中に這入つたときは覺えがなかつた翌る朝眠が覺めると良心の苛責が烈しく早速友人夫婦に向つて自白した「居候の身で濟まなかつた」と其の時友人は苦笑したが妻君はプイと橫を向ひて了つた

●不如歸　蝶月

五月の空にかける不如歸
今宵たのしき月のかけ
垣の卯の花さきそへて
去年の巢をすて空になけ
裾を拂ふ南韓山の夕風に
庵の軒ばの雲はれて
青葉にうみし袂には
無限があたへし淚あり
樹の間をもれし月は隣に
綠の神かあたへし筆もあり
花はわれを迎へて廊下に
君にたまひし紙もあり
なけ不如歸巢をすてゝ
われになけよいさ早く

佐倉宗吾

（百）　眞龍齋貞水講演

四代將軍家綱公が、二代將軍樣の御命日に御參詣遊ばされるに就いては、前々からして種々御支度でございます、昔の江戸表、今日の東京下谷の御成道と謂ふのは、將軍樣上野へ御成りの街道だから、そこで御成道と名附けてございます、サア愈よ御成りとなると、御成道筋は、前日から、町役人が觸れて歩きます、明日は上野御成りでございまする」「明日は上野御成りでござりまする」と云つて町內を觸れる、夫から今日もう愈よ御成りの當日となると、烟を揚げていかぬ、高聲を發していかぬ、二階から覗いてはいかぬと云ふので、孰れも二階屋は、雨戸を締めまして、節穴がありますれば、一一目張をすると云ふ嚴重、さう云ふ將軍の勢ひですから、考へて見ますと、明治の今日は誠に有難い事でございます恐れ多くも主上行幸あらせらるゝ時は、人民は立つて其龍顏を拜し奉る事が出來る、實に何うぞ有難い、それが御廟に御詣しゝました御勅語の內に、朕爾臣民と偕にすると云ふ思召で、下は穢多乞食に至るまでも、皆な御自分、皆な御自分の子の如く思召して居らせられるからであります、勿論古へとても御代々の天皇陛下は、其御心持であつて、恐れ多くも朝廷の御政治を預つて居られる征夷大將軍に於かせられても、亦その御心持で在らせられたが、此時分は未で上下の懸隔が、今日ほどには接近して居なかつたから、將軍の御成りとなれば、其程までに嚴しいものでございました愈よ十二月十九日となりますると上野東叡山寛永寺大僧正凌雲院殿御手代として圓珠院殿明日こうは我が故鄕の百姓の難儀を救はんと木內宗吾郎として御直訴を爲さしむるの當日[illegible]宗吾郎を今日限りの生命と思召されましてそれ〳〵御手代圓珠院樣、明日の御支度を遊ばしての後に、宗吾郎を一室の內へ御招きになりました宗吾郎は有難くも其へ出ますと圓「さて宗吾郎」宗「ハイ」圓「愈よ明日上樣が三代將軍樣の御靈屋へ御參拜あらせらるゝに就いては御清拳屋と謂ふ物が上がる其御清拳屋の上がる時が、恰度上樣、御靈屋の階の所へ御進みになるのぢや、既う其前から致して僧侶一同は經文讀誦に及んで居るが、愈よ御參拜となると、第一番の鈴がリーン、リーン、リーンと鳴る、それが鳴つて暫く經つてリン〳〵〳〵リーンと又鈴が鳴る其二番目の鈴にて、既う上樣が階の處へ御進みになるのだから其方は明日は其階の下へ潜つて居つて二度目の鈴を耳を澄まして能う聞き損はぬやうにして、其鈴の鳴つた時、そつと階の下から出ると、上樣の御立ち遊ばして居る處から、僅か一間位しか離れて居らぬから、恐れを顧ず御直訴を奉るが宜しい 宗「ハイ 圓「其方の願ひが屆けば、それにて宜しいのであるから 宗「ハイ 圓「上樣は親孝心で居らせられるし、下の者を憐み給ふ所の名君なれば、必ず共に其身の願書は御採上げ下し置かれるに、相違ない、願書が御採上になれば、將軍家から無論、酒井忠清殿へ御下問に相成る其時に御大老から、其方共が御駕籠脇まで致した事を申し上げ奉れば、是は表向きと成つて、堀田家は何うしても嚴しう御取立を御寛しに成る事は必定である、明日は其方が、一同の者に代つて、生命を捨てる當日であるから心得までに云つて置く、左樣心得られよ 宗「ヘエツ有難う存じます 圓「明日に至れば、既う是までの生命と覺悟いたさなければ成らぬから、今宵は寛緩其身に茶を取らせる 宗「有難う存じます、失禮ながら私を、是程までに御手引き下し置かれまして、宗吾が何うして斯う云ふ處まで忍び込みしかと云ふ事が、貴僧樣の御迷惑にならうと存じますが 圓「是は既に申した通りの迷惑くらゐを恐れて居つて何故これ程の手引きが出來るものか、實は其身の願書御採上と承れば、恐れ多いけれども、愚僧は御靈屋に於て自殺を遂げる覺悟であるわい

寄書

韓國中央銀行論(四)

ケーシー生

(廿五)

第一銀行の紙幣銀行權を取上ぐる場合に於ける報償條件

前項記述の如く本問題に對し直接間接に利害關係者の地位に立てる日韓兩國政府第一銀行帝國議會及日韓貿易業者の間に於て第一銀行の紙幣發行權を取上ぐべしとの意見一致したりと假定せば之に關聯して次に起るべき疑問は發行權取上に對する報償の條件なり銀行券の發行が既に特殊の權利たる以上(少くとも特權の恩典たる以上)は之を取上げんとするに當たり發行者に認容すべからざる懈怠若くは缺點あるか然らざれば發行其者が公安公益を害するか其孰れにか該當せざる限り無償にて之を取上ぐることは事理の許さゞる所なり余輩は固より政府當局が無償取上の發行を敢てすべきを信ぜざるも若しも萬一にも之を强要する如きあらば利害を同ふする關係者は斷然之を拒否して可なり何となれば之れ正當の防禦法なればなり

報償條件は其性質に依り二種に別るべし、曰く

第一 特權解除に對する賠償金

其二 特權解除の手續に關する協定事項

(其一)特權を解除して永久に發行を廢罷せしむとすれば、特權より生ずべき利得を標準とし相當の賠償金を支拂ふは理の當然にして近時第一銀行券の發行額は約壹千萬圓にして余輩の聞くところに因れば此發行權より生ずる直接の利得は一ヶ年約五十萬圓なりと事實果して然りとせば此特權は年五十萬圓の利潤を發生する一種の資本なり韓國に於ける普通銀行利子年一割と假定して採算すれば此の特權の價格は正に五百萬圓なるを知り得べし(他の特權買收の例に因るも一ヶ年の利得五十萬圓なる第一銀行券發行の特權を買收するに當り十ヶ年分の利得乃ち五百万圓を支拂ふは違し至當なり)此に於て余輩は斷定して曰はん第一銀行券發行の特權取上に對する賠償金額は五百万圓を以て相當なりと、韓國政府は發行權解除と同時に宜しく此賠償金額を支拂はざるべからず是れ報償條件中最要の項目なり然り而して前述の賠償金は何人の手に歸屬すべきものなるや發行者たる第一銀行獨り之を收むべきか將た他に分配すべきものなるか此點に就ては多少の說明を要するものなり而かも銀行券の起源沿革に就て說述するを要す

東京電報

▲新統監親任式 曾禰新統監の親任式は八日擧行發表せらるべしとの事なり(七日午後發)

▲船舶の火災 五日夜靑森縣沖にて第五日本丸火災を起し漁夫百三十名其他船員皆溺死せり(七日午前發)

▲輸出煙草好況 佐々木專賣局製造所長の談に依れば滿韓に輸出する我煙草は四十一年度に於て約二百万圓なり今日の狀勢を以てすれば尙益々增加の見込ありと

▲漢口のボイコット 漢口に於けるボイコットは獨逸人が日本人との競爭に敗れたるの結果流布せしに由るものなりと

▲經濟界の救濟 廿五日頃實業家は桂首相等を招き經濟界救濟に關する協議をなす由(以上六日午後發)

外報一束

●南米秘露の暴動 南米秘露リマ市に暴徒蜂起し大統領レギヤー氏は捕虜となれるも直に秩序恢復したる旨外務省へ公報ありたるが電文簡にして要領を得ず外務省は折返し詳報を爲すべき旨を秘露領事に訓電したる由多分支那移民排斥問題に原因せるものゝ如しと

●佛國の罷業騷動 巴里及びナンシイ間に於ける電信及び電話線の多數は切斷せられたり其の犯罪者は巴里の中央無政府黨團体の監督下に在る過激なる無政府黨員なりと稱せらると

●陝西の禁煙報告 淸國陝西巡撫恩壽の禁煙報告に依れば省城內の禁煙官吏二百名其他一般禁煙者は千六百餘人禁煙藥を施すこと三千六百斤省城外禁煙者十五萬五千餘人民間の喫煙館は一切禁止せり全省の罌粟栽培地五十三萬千九百畝にして(一畝はわが二百餘坪)昨年既に十八万千六百畝を減じ本年收獲後は栽培を禁止し桑、麻を改植すべしと

雜報

●道書記官會議(五日目) 七日の道書記官會議は松井警務局長議長席に着き午前中は警察事務に關する秘密會を開き午后より衛生事務に就きて協議する處ありたるが尙は五日の同會に於て午後より土木に關する件、及秘書課及文書課より提出の協議事項に就き打合せする處ありたり兎も角も內部に於ける道書記官會議は七日を以て愈終了したり

◎農商工部諮問事項 農商工部より道書記官會議に提出したる諮問事項左の如し

一、農業改良獎勵の狀況並に其成績如何
二、農業上施設を要すべき事項如何
三、農產物保護の必要ありと認む其方法如何
四、未墾地及森林山野の國有民有區分標準に關する件
五、商工業獎勵方法に關する件
六、度量衡を齊一する必要あるを認む其方法如何
七、植樹獎勵方法に關する件
八、森林保護方法に關する件
九、漁業獎勵の爲め漁具漁船改良補助金を下付せんとす其實行方法如何
十、漁獲物販賣の便利と確實とを得せしむる爲め魚市場業者に對し相當取締を爲す必要あるを認む其方法如何

●東拓總裁の歸任 東洋拓植會社第一回總會臨席の爲め上京中なりし宇佐川總裁は嶺秘書役長を隨へ七日午後八時十分南大門着の滊車にて歸京せし筈也

●英國議員の入京 英國上院議員スタンホープ伯は世界漫遊の途次近日來韓すべき旨統監府へ通報ありと

●丁抹國名士の演說 去る五日入京したる丁抹國人モルク氏は七日夕靑年會館に於て演說を爲したりと

●熊本觀光團の入京 別項記載の如く九州實業新聞の主催に係る韓國觀光團員四十六名は連絡船遲着の爲め昨夜太田に一泊七日午後二時二十二分南大門驛着列車にて入京せるが日韓人の出迎人非常なりき

●學部道書記官會議 別項記載の如く內部に於ける道書記官會議は七日を以て終了したるに就き八日より學部に於て敎育事務に關する協議會を開く筈なるが李學部大臣より一場の訓示演說あるべしと尙學部に於ける同會は八、九の兩日にて十日より農商工部にて主管事務に就き會議すべしと

●關稅局と受領書 關稅局南大門出張所にては稅關貨物取扱人が荷主のために關稅其他の料金を立て替へたるとき荷主に向て之れが請求を爲す場合には稅關より交付したる受領書と料金の明細書を添ゆべき旨通達したる由なれば荷主に於ても右の受領書と明細書を認めて仕拂ふことゝせば双方とも行違ひを生ずることなく至極便利なるべしと云ふ

●韓國觀光團歡迎會 熊本縣韓國觀光團は六日入京の筈の處風雨激しきため一日丈延引し昨七日入京せしに就ては同日之が歡迎會を開くべき筈なりし漢城府民會にても一日丈延期し本八日開催することゝせる由因に會場は景福宮內慶會樓なりと

●觀光團と民團 熊本韓國觀光團一行に便宜を與へんが爲め當民團及び日本人商業會議所にては八日朝一行を民團役所樓上に招待し韓國に於ける諸般の狀況を說明し尙倭城臺に案內して京城內の狀況を指示說明すべしと

◎韓國の揚水機購入 農商工部に於ては淸國保定府にありたる揚水機(淸名龍骨車)一臺を購入し先日來水原模範場にて試運轉を爲し試驗中なりしが其の成績頗る良好にして一時間の揚水約五十石あり其の動力は淸國に於ては驢馬なりしも之れを牛に換へたる由なるが韓國の如く小農組織の處に於ては好適のものゝ故申合せの上購入することゝせば便利なるべしと

●京商議員の半數改選 當地日本人商業會議所議員半數改選は來る三十日行はるべき由は既報の如くなるが同會議所にては明九日より十一日迄午前九時より午後四時の間撰擧人名簿を閱覽せしむる由なり尙同會議所にては九日總會を開き右半數議員改選に關し協議會を開くべしと

●チロル モリソン兩氏歡迎會 經濟協會のチロル、モリソン兩氏の歡迎會は豫定の如く一昨六日京城ホテルに開會せらる、正午十二時の定刻には參會者續々來會したり、然るに主賓たるチロル氏は前夜より下痢を起したる爲に起居自由ならず爲に止むなく臨場せられずモリソン及び英國總領事代理レイの兩氏臨場せらる宴酣にして三浦理事官は起立し英語にて莊重なる辯を以て左の如く歡迎の辭を述べらる

本會幹事長市原博士不在の爲に余は本日の會に於て同博士の代理を勤む、抑も倫敦タイムスの世界に於ける大新聞たることは余の喋々を要せずして諸君の知る所である、氏及び北京通信員たるモリソン氏を歡迎することは本會の光榮とする所である然るに我新保護國の當地にては東京に於るが如く國際新聞協會も帝國ホテルをも有せず依て茲に午餐會を催せし次第である然るにチロル氏には昨夜來御病氣の爲に本日御臨席のなきは吾々の遺憾とする所なるもモリソン氏の御臨席を得たるは最も光榮として喜ぶ所である、モリソン氏には何卒本會の微意を諒せられて御馳走は極て淡白なるも唯意の厚き事を諒取せられんことを希望する、尙々英國總領事代理レイ氏が特に臨席せられしことは亦本會の大に光榮とする所である

と述べ終りてシャンピンの杯を上げ一同起立してモリソン氏及びレイ氏の健康を祝す

モリソン氏は更に起立して左の如く答辭を述べらる

諸君、余は今回の旅行に於て至る所にて歡迎を受けたることは甚だ喜ぶ所である本日は亦此所に於てれ招きを受けて本會の會員諸君と相見ることを得たるは余の光榮とする所である、然るにチロル氏は不幸にして昨夜來病氣にて出席することを能はず、同氏も之を殘念に思はれ居り余より宜しく皆樣に申上るべくと傳へらる若しチロル氏にして臨席せられなば同氏は世界に於て、非凡なる經驗を有する一人であれば必ずや諸君に向て趣味ある話をするであらふが、余に於ては今何等申上ることを持たぬ、終りにチロル氏及び總領事に代て諸君に深くれ禮を申上ると述べ終り更に起てシャンピンの杯を擧げて會員の健康を祝され散會したるは午後三時なりし當日は珍客の歡迎會なれば匆卒の際に開會したるにも拘らず頗る盛會にて來會者は無慮六十有餘名なりき

●官煙輸出の情況 專賣局開始前より滿韓に輸出したる貰の高は三十五年(專賣前)は約七億本三十六年は六億本三十七年は日露戰役起りて我軍隊其他人民の滿韓に入るもの多かりしかば其需要も頓に增加して九億本に上り三十八年には十七億本と激增したるも三十九年には軍隊の歸還と共に十億本に減少し四十年には十二億本に引返し昨年度は銀貨の下落と滿韓一帶の不景氣の爲め九億本に減少せるも其の前途は益々增加すべき形勢なりと

●チロル モリソン兩氏出發 倫敦タイムス記者チロル、モリソンの兩氏は昨七日午前九時十分南大門發新義州行列車にて出發せり途中チロル氏病後疲勞の爲に平壤に一泊するやも知れずとの事なるが兩氏共に別れに臨んで滯在中の厚意を深く謝せられたりき、見送人は鍋島外務部長、外波海軍武官、松井鈴木の兩局長、津輕伯爵、山岡稅關長、戶叶、峯岸の兩新聞社長其他の諸氏なりき

●度支部統計課擴張 度支部官房附屬統計課は從來事務の成績に關する統計事務のみを取扱來りしが今後は事務以外の事項と雖も取扱ふ筈にて之れが組織と蒐集事項に對して目下調査中なるが遠からず成案として發表せらるべく行々は韓國の統計局となすべき計畫なりと

●皇后陛下の令旨 我皇后陛下には本月四日擧行の赤十字社總會に臨御あらせられ左の令旨を下し給へり

本日赤十字社第十七回の總會に臨み各員を見るを喜ぶ客歲は韓國に於て社員總會を開きたる趣追々社業の發展するは滿足の至りなり尙將來本社の事業益々盛大ならむことを望む

陛下が韓國に於ける社業に關し特に叡慮を垂れさせられ本社總會を機とし斯く優渥なる令旨を賜はりたるは在韓社員一同及び當事者一同の恐懼措く能はざる所なれば石塚委員總長は令旨のある所を一般社員に傳達ありたき旨各委員長宛通牒する所ありたり

●京城民會委員會 去る二日開會の筈なりし京城民會委員會は委員の都合により流會となりたるが七日午後二時より各委員出席の上委員會を開會したるが本會を以て日韓瓦斯會社道路使用の件は落着すべしと

◎衛生幻燈の試影 警視廳に於ては韓人の衛生思想を啓發する爲め嚢に衛生上に關する幻燈を購入し過般來同廳衛生課に於て試影しつゝありたるが其成績頗る可良なるにより不日學校若くは劇場を借り入れ一般人民に無料にて觀覽せしむべしと

●福岡工藝團体入京 福岡市工藝團体聯合會副會長古川德太郎氏外十七名及同市商工課長堀龍磯氏は韓國視察の爲め入京不知火旅館に投宿したり

●露國領事代理渡日 在京城露國總領事館付書記官ケルベルク氏は六日日本に渡航したるが其用向は長崎駐在露國領事歸國に就き之れが代理をなす爲めなりと

●釜山福岡兩商人會合 福岡工藝團体員二十餘名は過日釜山に來り同地會議所に就きて釜山と通商貿易をなさんことを希望し釜山商人に販賣を依託するを便益とするに決し五日午前九時商業會議所に於て釜山各商人の重なる者三十餘名と會合し協議を重ねたる由

●明年度の曆書發賣 學部にては隆熙四年度曆書の發賣人を募集しつゝあるが請願期間は六月三十日にして一人の所要部數は最少限度一千部とし所要部數に對する賣下金總額の十分一に該當する保證金を納入せしめ十月十日迄に該所要部數の代金を納入せしむべしと尙一部の賣下金は六錢にして一般人民に十錢にて頒布すべしと

●江原道と耶蘇信者 韓國江原道に於ける耶蘇敎は暫時弘布の勢ひあり江陵金城郡に涉り佛人宣敎師四名、米人宣敎師五名にして其信徒の數は天主敎一千七百七十六、耶蘇敎一千六百六十二名なりと

●チース博士の入京 南滿鐵道東亞經濟調査局顧問チース博士は六日午後十時二十分南大門驛着列車にて入京せり

●原島技師の歸任 釜山牛疫檢查所建築事務視察の爲め出張中なりし同氏は六日夜歸任せり

●熊谷民長の病狀 先日來腦胃病に罹り引籠中の熊谷民長は經過良好なるを以て三日中に出勤すべしといふ

●叙任辭令

仁川府尹 金潤晶 任仁川實業學校長
前官立仁川日語學校敎監 岩崎厚太郎 任官立仁川實業學校敎監(奏任四等)

公人私人

▲岡本正夫(大邱副理事官) 六月入京不知火旅館
▲橋本豐太郎(仁川副理事官) 同上
▲市川代治(滿鐵社員) 同巴城館
▲伴野雄七郎(水原東山農場長) 同天[illegible]

近事片々

▲曾禰子陞任附帶條件云々の東電が道の風說たる事が確められ韓人側安堵せり
▲李容九は愈々東京を出發したりとの 歸來一進會の態度所謂好意的傍觀とな
▲一說には李容九歸來して內相とな 錫振一進會長たらんと是も亦風說なら
▲統監更迭發表の遲延せる爲に種々の風說續出して人心を迷はす速に發表を要す
▲發表遲延は曾禰子に對する世評面白からざる爲に桂侯伊公躊躇する爲也との噂
▲隈伯再び統監論を爲して曰く統監には是非經驗と新智識に富める壯年有士を要
▲時世後れの白髮老爺はダメ殊に極めて高壓政策は懷柔の弊よりも害多しと
▲此際隈伯を引張出し統監たらしめよと說者あるも伯は矢張實行より批評が長
▲批評家經世家として伯は慥に一代の人豪故に野に置て雄舌を振はしむるが好
▲倫敦タイムスのチロル氏日本の對韓策を是認し長電を發し爲に輿論好變轉す
▲日本政府はチロル氏の來遊により對韓問題の解決に就て大に好風潮に向ひたり
▲兎に角日淸懸案問題が解決することは甚だ喜ぶべき事此解決に依り相互融和せ
▲日糖事件は更に新材料發見せられ大擧あらん而も各政黨の領袖に飛火すべし
▲砂糖の中毒は下院領袖等のみならず上院にも波及し檢擧の區域延張せんと苦む
▲大浦農相地方巡視に於て政治運動を爲せりとの事に就て世論持上る此爺にも困
▲兼武農相の行動は露骨往々世の物議を招く此爺は大臣たるより寧ろ政黨親分適
▲宮相問題は今尙暗默の中に自稱候補者連暗鬪しつゝありとは甚だ以て聞苦しき
▲倩も何人が後任者と決定せんか伊東浦都築等は望ましからず牧野岩倉は最も
▲近來厭世者の自殺頻々たる之を希求するが如き大馬鹿者あり實以て濟度し難き
▲早稻田中學敎師が妻子を捨てゝ自るに滑稽の遺書を送る而も其實自殺せ
▲安眠自殺を發明し安眠自殺をなす 閣社に書を送て世を驅す大馬鹿者中川
▲此馬鹿者も本氣死に得ず何れかに 隱す此報は實際競爭場裏に立てぬ迂氣

●平北の清國密漁船 平安北道沿岸視察として出張中なりし農商工部水產局員池內氏は六日歸任したるが淸國の密漁船に付き調査したるところを聞くに彼等は地方及沖合漁業の二種にて地方漁業は重もに安東縣より貔子窩方面の者多く淸川江外鴨綠江にて海老漁に從事し約百五十隻集團を[illegible]其根據地を[illegible]島、文島、雲[illegible]に構へ盛に海老の製造を爲し沖合漁業は鴨綠江外大和島方面にて約三百隻の漁船刀魚石骨魚の漁獲を爲しつゝある由にて是等の漁は山東省及遼東方面より來れるものにて彼等の根據地に於ける狀態は雜貨店、理髮業、洗濯業者等ありて一市街を爲し居れりといふ

●木浦統計年表完成 木浦理事廳管內明治四十一年度統計年表は五日完成したる由

●草場檢事官の招宴 法務院草場檢事官[illegible]は七日倉富法部次官、香坂法務院長其他の知人十數名を花月樓に招待し一夕の宴を開[illegible]

●露國通譯の歸官任 客月二十九日長崎に向け旅行したる在京城露國總領事館付通譯官パスケービッチ氏は去る三日歸[illegible]

●平北の清國密漁船　平安北道沿岸視察の爲め出張中なりし農商工部水産局員池内氏は六日歸任したるが清國の密漁船に付き調査したるところを聞くに彼等は地方及沖合漁業の二種にて地方漁業は重もに安東縣より獅子窩方面の者多く清川江外鴨綠江にて海老漁に從事し約百五十隻集團を爲し其根據地を[illegible]彌島、外鵝島、文島、螺嶋に構へ盛に海老の製造を爲し沖合漁業は鴨綠江外大和島方面にて約三百隻の漁船刀魚石骨魚の漁獲を爲しつゝある由にて是等の漁は山東省及遼東方面より來れるものにて彼等の根據地に於ける狀態は雜貨店、理髮業、洗濯業者等ありて一市街を爲し居れりといふ

●木浦統計年表完成　木浦理事廳管內明治四十一年度統計年表は五日完成したる由なるが差支なき限り閲覽せしむる由

●草場檢察官の招宴　法務院草場檢察官は七日倉富法部次官、香阪法務院長其他の知八十數名を花月樓に招待し一夕の宴を開かれたる由

●學相の招宴　學相李載崑氏は九日[illegible]書記官會議を終りたる后一同を花月に招待して晩餐を供する由

●露國通譯の歸官　客月二十九日長崎へ向け旅行したる在京城露國總領事館付通譯官バスケービッチ氏は去る三日歸來

●京城寫眞館の卅分（六日午後二時よりの）　ぼく

誰れが云ひ出したか一つ寫眞を撮らうと相談が決まつた、次の問題は然らば何家に致さうかと來る、財布に相談すると安い所の方が宜い安い所とすれば京城寫眞館が第一であると又誰れやらが云ひ出した、さらばと遂に此れも又之れに決した。

今日は、とも云はずヌッと這入る、廿二三の內儀が何卒れ二階へと云はる一同余り畏まらずドタバタと登れば廣からぬ待合室は先客四人に丸卓子机椅子の數々にて充滿の樣なり。先客の內二名は料理店蝶々の若い衆他の二名は敎習所の查公か左の肩に何やら赤い記章を附したり。

眞新らしい紺法被、襟に蝶々と草書の白抜き、肌地を自慢に襦袢も着けず、紺献上の博多の夏帶、キチンと締めて斜に横へツンと少うし反り氣味の、苦味走つた目鼻だち三十一二の男盛り、浮氣の後家には見せられぬ縹緻よし聞くまア今日まで無事で居られた、此の人姓を中野と云ふ、生れ故郷は大坂か妹さんが在つたら嫁に欲しいと又誰れやらが混ぜ返す、此の人物好きにも韓裝して撮映したり。

伴の一人は水淺黄の萌立つ樣に鮮かに染め上りたる印半纏、襟には同じく文字の白抜き背にも大きく蝶の畫を白く抜いたに鑄た納戸の絞り縮緬の兵古帶を確乎結んで背後に下げ銀の鎖りを二卷程輕く搦んで半股引にカーキー色の長靴下、分も隙さぬ身裝束商賣柄で垢抜けのした、此の人其名を太郎と云ふ、廿三四の好い若い衆、嘸や近所の娘さんがお臀を跟けて五月蠅からふ、と他事ながら苦勞になる、撮つた寫眞は誰れに遣るの。

查公中川氏、年は廿六七なるべし、跡から來りし子供連たる客を顧みて「何うかれ先へ」との挨拶、詰らぬ事の樣なれど若い人には出來ぬ藝なり、此の弱齡を以てして既に此の抑損あり、此の同情あり、永く此の美質を失はざれ、警察官としては最も斯くの如き美質を涵養するを要す、僕は君が敎習所(か)を出で〻任地に赴くの日、必ず大成する所あるを疑はず好漢健在なれ、と其の前途を祝福して置く、

同伴者の名は逸したり。十八九なる婦人の羞耻勝に、白く艶かな頰を染めて俯目に控ふ姓は野崎名を千代と云ふ本町一丁目裏通り邊でよく見掛け申す人なりと云ふものあれど何うやら判つたものにはあらず

僕のは既に映されたり。稅關監吏の妻君と七つ計りの女の兒を連れたる人と摺れ違ひに表へ出づれば唐突に「ホーラ大蛇々」と怒鳴る人あり、吃驚仰天、聲する方を恐々ながら眺むれば日の丸組の若い衆が向ふ鉢卷大童にて山と積んだる鯛の頭を手鈎でコツ〳〵叩きながら又もや聲を張り上げて「ホーラ鯛ちや〳〵」とは人騷がせな。

●仁川海岸の血の雨

▲加害者は十八の若者▲原因は父の仇討▲直に捕はる▲双方共前科者……

去る五日午後十時頃仁川新埋立地に於いて船夫同志の殺傷事件ありたり其の顛末を左に詳報せんに

▲兩名の素性　加害者は仁川築組團平船九號乘組員熊本縣宇土郡網津村大字佐吉川島豊三郎と云ふ十八歲の若者にて被害者は同じく船夫なる廣嶋縣安藝郡三保島今井孫太郎(卅)と云ふ血氣盛りの男なり

▲殺傷の原因　當日は豪雨頻りなりしかば被害者今井は加害者豊三郎の父なる川島鹿藏(三)及面谷某の三人車座となり鹿藏の船にて飲酒し後三名は上陸し穀物協會前韓人酒家に入り又もや飲酒し三人同行にて水產會社の方に步を移したるが海岸通りは泥濘深く步行の困難するより酩酊せる孫太郎は一步は高く一步は低く千鳥足に步める際泥の一塊に機みを喰つて鹿藏の着物に振り掛りたれば鹿藏は大いに怒り口論の結果格鬪を初めたるが鹿藏は血氣盛りの孫太郎に敵すべくもあらず終に泥中に投げ倒され泥鼠となりしが孫太郎は好い面の皮だと新埋立地の方に步み去りたるが一方泥塗れとなりたる鹿藏は無念遣る方なく起き上りさま直ぐ附近の棧橋に碇泊せる實子豊三郎の乘込める九號船に飛び込み一伍一什を物語り力を借せと云ひたれば之れを聞きたる豊三郎は父の無念を晴さんと五寸許りの短刀を懷中にして新埋立地の方面に飛び出したり

▲現場の摸樣　斯くとは知らぬ孫太郎は面谷と共に新埋立地を歌舞伎座の方に向ひ步みつゝありし折柄後より呼び止むるものあるにぞ振り顧れば鹿藏の實子なる豊三郎なるより茲に二口三口爭論したる果て孫太郎は又もや力まかせに豊三郎の橫面を二つ三つ張り飛ばしたるより豊三郎は實父を投げ倒され今又自分が毆打せられたれば意恨遣る方なく茲に殺意を生じたるものか懷中に手を入るゝと思ふ間もあらばこそ拔く手も見せず五寸の短刀は孫太郎の脾腹にグサと突き刺されたる急所の痛手に孫太郎は些の抵抗もなし得ず許りに泥中に打ち倒れたるを豊三郎は仕濟ましたりと直に已が船に歸り匕首は隣船の某に預け水桶の中に匿し素知ぬ顏してありけり

▲其夜捕はる　此の騷動を聞き付けたる仁川署の今井刑事は直に現場に駈け付けたるも時既に遲れ豊三郎の姿を匿したる後なりければ直く樣乘込船第九號に至りたる所既に衣服杯改め居たる所なりしかば御用の一聲諸共に仁川署にと引致せり

▲双方共前科者　聞く所に由れは加害者豊三郎は一昨年六七月頃竊盜を働き入監し又被害者孫太郎は竊科三犯の曲者なりと云ふ

紳士の遊興振

▲鶴岡永太郎君　農商工部書記官の君は名前だけを聞くと永太郎とて大變優しい樣なれど赤門を出てから漂然滿州に赴き大に亂暴を働いたそうだが其中には隨分滿州美人にも可愛がられたそうだ、併し是れは御本人の惚けだから頭より當にはならぬのである、當地に來任してから京城の空氣に感染してか否かは知らざれども時々樓上に其姿を見る、そこで君の遊興振はと云ふと所謂牛飲馬食で側に居る雛妓杯は鶴岡さんは滿州の馬賊だつたからアンナニ澤山食べるのだと眼を丸くするそうだ、が併し此馬賊先生何處で覺へたか追分から都々逸又は磯節等も唸る、節廻しは中々甘いが其蠻聲には甚だ恐縮する若しも君か舟の上で得意の追分を唄つたなら氣の弱い鯨杯は目を廻して仕舞ふであらふ然るに近來は細物は得手でないと云ふので窃かに義太夫を研究して居る、併し君の蠻聲が果して太物に適するや否やは疑問だが隨分熱心なものだ昨今は日吉丸の三れ政の口說で

「過ぎし逢夜のむつごとが身にしみ〴〵と片時も」

と頻りにやつて居る是を隣席で聞いた某氏は調子や聲や乃至節廻しの巧拙は兎も角も其優しい心根に感じ蠻骨又情ありと評して居た、尙は今後君の義太夫がドレ程の稽古が出來るかは知らんが恐くは少々物になるかも知れん(投稿歡迎)

次は戶叶薰雄君

●お辰の義太夫　當地花月樓の老妓お辰姐さんは粹樣先刻御承知の通り新內の名手を以て有名なるが姐さん近來得意の新內を打棄て大に義太夫に熱中し居れる元來新內語りが淨瑠璃を稽古するは非常に困難なるものなれば淨瑠璃の方は未だ以て完全とは行かされ共糸に至つては大に上達し專門の藝妓も三舍を避くるとは豪らい者なり

●竊盜未遂犯　南部美洞鄭福景(十九)と云へるは一昨日午後七時五十分頃旭町一丁目六十番戶古着商川村習次郎方奥座敷臺所へ忍入り竊盜の目的にて迂路突き居たるを家人に認められしかば直に現場を遁走したるも南大門通り二丁目市場に於て取押へられ其儘南部署へ突出さる

マルソイド　新屋根材料　藤原支店　京城永樂町　電話八九番

●時計泥棒捕はる　明治町三丁目九十六番戶大野卓男は本年四月十八日午前十時頃自宅温突內机上に置きありし銀側懷中時計一個を竊取せられしか右は其當時來合せ居たる大邱西大門生れの李僧男(十七)の所置ならんと搜査中の處去る五日午前六時頃明治町を通行なし居たるを被害者大野が發見し南部署に突出し同署に於て取調の結果右時計は李が竊取し西大門外兵營前煙草小賣韓人某に代貳圓八十五錢にて賣渡したる事を自白したれば其儘留置さる

●迷兒の保護　去る五日午後六時迄本町通に年齡五歲位の小兒迷ひ居たるを本町派出所に保護中明町平野安次郎內緣の妻林トメの長男敏雄なる事判明せしかば後來を戒め引渡したりと

演藝界

▲歌舞伎座　第五回目本日の替りは「斷腸錄」全十一場なりと

▲京城座　梅花美團は引續き大入なるが本日の出し物は「獨逸士產」なり尙は同座には新に橫山研太郎、稻葉和之助等加入したれば頗る好芝居となりし由

▲龍山座　田宮、松村一行は開場以來好人氣なるが今明日の出し物は「百萬圓」にて二日續きに演ずる筈なるが田宮の扮するめ組の半次は頗る手に入りたる者なりと

●韓語獨習

日語	韓語
老兄のは少し狂つて、居ります	ノヒョングコスン、チヨム、ヒユンイナッソ
否、あなたのはあまり早い	アーニ、ノヒョングコスン、ノムー、パルオ
午前十時です	オチョンイヨルシオイタ
御姓名は何と申されます	ソクシヌン、ヌークーシヨ
私は、松久友治です	オーヌン、ソングーウーチヨ
御職名は何ですか	チクハームン、ムーオーシヨ
陸軍通譯です	ユククン、トンヤックイヨ

拜啓　新綠蒼々之候愈御淸福奉欣賀候陳者不肖龍山民團へ在職中は公私共不一方各位の御眷顧を蒙り感謝の至りに不堪候實は一々拜趨御禮可申上筈之處公私多端の際乍略儀以紙上御禮申上候也。

五月三十一日　淵上貞助

平民文庫

捏造中傷無用のこと　小便も亦御斷り申候

▲本月五日の平民文庫欄に愛讀生の投書に有りし通り九星吉凶判斷を本町五、三一館の如く本紙に毎日出して下さい(廿二才愛讀生)▲三一館主に賴んで見ますよ(給仕)▲南大門停車場前のエーテーの主人に申す手輕なること本店の如く、美味なること本店の如くなる支店を南山公園邊へ設けて欲しい氷店を兼ねてゞすよ(れ賴み生)▲永樂町三丁目の○○商會に居られる方で毎朝袴姿で龍山方面へ御越しなさる樣子彼の方は長男か次男ですか私は末の約束丈でも致して置きたいと人にも賴んで居るのです斯好き折がないので殘念で只毎朝辻に立つて其姿を見るのを切めてもの心遣りにして居ります(本町四丁目綾子)▲一口噺を一つ　甲「オイ君火事だよ〳〵」乙「何に火事だ、近いか」甲「遠いけれど見當が惡いから……」乙「疲勞れるナアーア」▲火事は近いのに限る」(大和町勇泉)▲日が照れば暑いし雨が降れば鬱陶しいし困つたものだよ(切符剪り)▲宮內府の井上さんの御盛んのことは驚きます眞實皆社の揑造ではありません何んなに生鷄卵の好きな妓でも一度で懲り〳〵します妾しなんぞも……(被害女)▲統監府官吏の正服姿が近頃はサツパリ値打がなくなツた韓人威壓(か)上至急改正するがよし(小膽人)▲雀百迄をどりを忘れず、伊公百迄女を忘れず好い對句だ

齒科診療　自午前八時至午後五時　南山町巴城館上隣　東京醫科大學專攻　統監府囑託齒科醫　飯塚徹　電話千百四十番　開通

●天氣豫報　南西の風晴　(自七日午後六時至八日午後六時)

六日　最高溫度　七五、二　最低溫度　六〇、六　(華氏)

公告

當會議所議員半數改撰期に付き來る九日より十一日に至る三日間當會議所內に於て每日午前九時より午後四時迄選擧及び被撰擧名簿を縱覽に供す

明治四十二年六月七日　京城日本人商業會議所　會頭　中村再造

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度 年廿五體强中等教育有簿記物通 給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實 保證人有 氏名在社（二七五）

●被雇度 年二十八身体强健多年建築請負 業從事諸負業主に雇はれたし給料不論確實 保證人あり 氏名在社（二七三）

●被雇度 土木建築及官衙用達業に多少經 驗を有する身元確實なる者同業者に被雇た し高給不望 氏名在社（二七六）

●被雇度 年廿五普通教育有る婦女會社病 院商店の事務員又奥様ある家庭の上女中に 雇れたし保證人あり 氏名在社（二七八）

●開校 私立裁縫徒弟學校開始す希望者は 至急申込あれ規則書入用の向は郵券二錢送 付す 龍山本町三の六六 吉村又平治

●注意 紹介依頼者にして電話を有せさる 御方は依頼の際郵券封入有りたし左なくは 諾否の通知をなすに由なし（係）

●賣子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町讀賣所（二八〇）

龍山の露城生に告く 君とは別人なり（係）

物件部

●氷店賣却 氷店道具一切附屬品共賣却し 度し御望の方は電話千百八十三番へ

●求借家 韓人家屋にて人通り繁き横丁に て温突五六間の二階建及平家にても至急借 受たし場所太平町北米倉町附近を望む 社内柏木（二七二）

●求地所 大和町附近高燥にして眺望好き 二三百坪の地所を格安にて讓受けたし 氏名在社（二七〇）

●賣家 龍山元町電車通（テンカン局隣）地 所七十坪韓家屋十八坪地所共格安賣たし 氏名在社（二七九）

廣告

新茶賣出し

卸 小賣

京城本町五丁目

富士の里茶舖

電話九九七番

眼科專門

京城本町一丁目参十四番戸 元鹿井跡（電話三十三番）

江頭眼科醫院

醫學得業士 前漢城病院眼科部長 江頭富雄

夏物大賣出し

五月廿八日より六月廿日迄大割引販賣仕候 間續々御購求あらん事を 衣服類、洋物雜貨、文具、履物類 其他何でもあります

龍山元町三丁目銀行西隣

寺岡商店

東洋總代理店

實用 石鹸 アイボリー

京城本町 京原商店

電話 八九四 壹〇

明治廿年七月創立

東京海上運送火災保險株式會社

資本金一千萬圓 ●京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

時節柄敷物及夜具等新調仕 り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切 を旨とし調理の義は從來よ りも一層勉强可仕候間舊倍 の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

（電話長一〇七番）

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類

各學校御用品調達

委托販賣

東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

旅館 西洋料理

御食事は和洋共御好に應じ申候 大食堂の外輕便なる新築小食堂 あり御來饗奉願候

南山町 元日本人倶樂部

京城ホテル

電話長 一二三 四九二

最良煉乳

鷲印ゴールデンミルク

●正味十六オンスの容量あるは全國輸入の 多數ミルク中鷲印を措て他に需むる能はず

開業御披露

本町二丁目本町座跡

ビヤホール共樂園

庭園の閑雅なる器具の清潔なる待遇の懇切なる 價格の低廉なるは共に我園の誇こする所なり

名譽大賞金牌受領

京都市開設の 全國製産品博覽會に於て

學市開設の 關西製産品共進會に於て

例年の通り六月十日より 本火入酒發賣致候間 倍舊御愛用を賜り度候

仁川本町

宅合名會社 仁川支店

電話六四番

本品は其質滋養分に富み身體を强壯にし血液の循環を良くし衛生に有益なる飲料なり

各地到る處に販賣店あり御最寄にて御買上を乞ふ

國際通運株式會社

貨物保險 危險擔保 運送取扱 物品運送附 税關貨物取扱 貨物引換證 代金取立 發行

京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番

仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番

草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話五三七番

龍山驛構内 龍山派出所 電話二〇六番

新着廣告

歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗、

G. D. 印トルコ金口煙草（百本入 十本入）

外各種 百本入、二十本入、十本入とも 右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願 上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元 仁川本町一丁目

トルコ煙草商會

電話（七一五番）

▲清潔の下宿▼

客室の清潔こ調理の美味さ御 扱の懇切こを特色こして下宿 營業仕候間賑々敷御投宿の程 御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路 （元花屋跡）

かめ屋

▲懇切の下宿▼

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

電話十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話九三番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 月 日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 月 日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月二十二日前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 六月 十七日正午出

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 六月 十六日午後

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄 送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本 船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ケ月前金卅五錢 ▲三ケ月 前金壹圓 ▲六ケ月前金貮圓 ▲郵税一ケ月拾錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太郎

發行所 京城新報社 京城西署 電話六六三番